

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	18
2. 大学等名	宇都宮大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	全学部（地域デザイン科学部、国際学部、教育学部、工学部、農学部）
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	(397.5文字)
<p>宇都宮大学は、新たな地域社会の変革を担うべく主体的に挑戦し（Challenge）、自らを変え（Change）、社会に貢献（Contribution）する人材の養成を目標としている。この人材は、社会を構成する数々の事象の本質を見極め、各自の価値観に照らして適正に判断するとともに、自らが持つ知識・能力を最大限に用いて、新たな社会を創造するため自律的に行動する能力を備えることが求められる。このような人材の養成のため、獲得した知識の体系を自らの行動につなげ、現実社会で実践していくための態度・志向・感性とリテラシーで構成される能力要素を「行動的知性」として指標化し、その獲得を着実に実行し得る制度設計を行う。第一に能動的学修を促すアクティブ・ラーニングの深化と拡充、第二にルーブリックによる行動的知性学修評価システムの開発、第三に能動型学修を実現する教授能力・資質の向上を三位一体で実行し、本学の学士課程教育の質的転換を図る。</p>	